特記仕様書（建築）

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所　土浦市下高津2丁目760-1
2. 敷地面積　5,000 m²
3. 建物，その他概要（建物名所，構造，階数，各階床面積，延面積，備考）

工事名称	仮称　土浦市保健センター　建築主体工事
構造	RC造　一部S造
階数	地上3階　塔屋
各階床面積	1F　1033.25 m²
	2F　999.04 m²
	3F　723.14 m²
	RF　98.80 m²
延床面積	2855.73 m²

4. 別途工事

Ⅱ 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面および特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修 建築工事共通仕様書（平成元年版）による。

2. 特記仕様

(1)項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2)特記事項で⊙印，※印・印のある場合の適用は下記による。
　⊙印のついたものを適用する。
　⊙印のない場合は，※印のものを適用する。
　⊙印と㊟ある場合は，共に適用する。
　・印のついたものは適用しない。
(3)特記事項の記載の（ ）内表示番号は，建築工事共通仕様書の当該項目，当該表及び当該図を示す。
(4)電気工事，機械設備工事は別記各工事特記仕様による。

章	項目	特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等
⊙建築工事標準詳細図　建設大臣官房官庁営繕部監修（平成元年版）
⊙構造配筋基準図　構造図による

② 技能士
適用職種別（一級技能士）
⊙鉄筋技能士　⊙とび技能士　⊙ブロック建築技能士　⊙タイル貼り技能士
⊙建築板金技能士　⊙左官技能士　⊙建築大工技能士　⊙塗装技能士
⊙サッシ施工技能士　⊙硝子施工技能士　⊙造園技能士

③ 設計図書の優先順位
1. 現場説明書　2. 特記仕様
3. 設計図　4. 建築工事共通仕様書（平成元年版）

④ 建築材料等
建築材料の製造所，製品及び施工業者などは，特記されたもの，又は同等品以上とする。ただし同等以上とする場合は監督員の承諾を受ける。

⑤ 特別な材料の工法
建築工事共通仕様書（平成元年版）に記載されていない特別な材料の工法は，当該製品の指定工法による。

⑥ 下請負人通知書
建設業の許可番号を明記した下請負人通知書2部を着工前に提出するものとする。なお1件の請負代金額が200万円未満の場合にはこのかぎりではない。

⑦ 発生材の処理
㊟構外搬出適宜処理　(1.1.9)
・引渡しを要するもの

⑧ 提出書類
下記のものを提出する。
⊙写真

適用	内容	サイズ	カラー	モロクロ	枚数	部数	整理方法
⊙	現況写真（着工前の敷地及び周辺状況）	サービス	⊙	※		1	スクラップブック
⊙	工事写真（工程順　名称　日付等を記入）	〃	⊙	※		1	仝上
⊙	完成写真（支払用，外観及び内観）	〃	㊟		2	1	B5版台紙
⊙	完成写真	キャビネ	㊟			2	アルバム
・							

内部 15　外部4 枚
市～1部，事務所～1冊
黒表紙　金文字

⊙規格証明書（ミルシート，検査証明書，試験成績書等）
⊙ガス圧接作業員技量資格証明書（写し）
⊙ガス圧接試験報告書
⊙コンクリート強度試験報告書
⊙クイ打結果報告書
⊙溶接工技量証明書（表・裏とも写し）
⊙防水保証書（9-1.2.3.は10年，9-4は3年）
⊙コンクリート計画調合表
⊙火災保険等に加入したことを証明できる書類
⊙保全に関する説明書
⊙監督員の指示するもの

⑨ 機械設備工事との取合
本工事の範囲は，下記のものとする。
⊙スリーブ補強　~~66~~ 計　66 箇所（外壁 250φ～14，200φ～29，内壁 250φ～3，梁 200φ～20）
⊙開口部補強　計　104 箇所（軽天下地 98，外壁 4（400×400），床 2（700×700））

⑩ 電気設備工事との取合
本工事の範囲は，下記のものとする。
⊙スリーブ補強　計　30 箇所（100φ）
・開口部補強　計　箇所　⊙埋込器具用天井切込及び補強　計　軽天下地 557 箇所
・

⑪ 施工図
建築工事の施工図及び設備工事との取合の検討が必要な施工図は本工事にて作成し，承諾を得る。

⑫ 工事完成図
下記の図面を提出する。〔マイクロフイルム（36mm，4駒横列に区分）及焼付マイラーベース（ポリエステル系）のB－4版各一部〕
案内図，配置図，各階平面図，立面図，断面図，仕上表，躯体図，他

⑬ 設計GL
㊟図示　・現状GL

⑭ 引渡物
㊟鍵は1個所につき3個を1組とし，プラスチック札に室名を記入して提出する。
⊙マスター鍵は1組3個とし，木製及金属製建具共通とする。
⊙スチール製キーボックス
・

② 仮設工事

① 監督員事務所
種別　・1号　・2号　・3号　・4号　・5号　・設けない。　(2.3.1表)

② 工事用水
構内既存の施設　⊙なし。　・あり。〔・利用できる（有償）。　※利用できない〕。

③ 工事用電力
構内既存の施設　⊙なし。　・あり〔・利用できる（有償）。　※利用できない〕。

④ 仮囲い
※高さ 1.8 M　延 188 M　⊙仮設ゲート

⑤ 工事用仮設道路
※幅 6M　厚さ300mm砕石敷　延＿＿＿M　・撤去　・含む　※含まない
・

③ 土工事

① 埋めもどし及び盛土
種別　・A種　㊟B種　(3.2.1表)

② 残土処分
※建物廻り敷均し　⊙敷地内敷均し　(3.2.5)
・場外処分〔※自由処分　・指定地へ敷均し
（場所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

④ 地業工事

① 杭の種類
くいの種類　(4.2.1)　(4.3.1)
・遠心力鉄筋コンクリートくい（JIS規格品）※1種　・
~~プレストレストコンクリートくい（〃）~~ ※A種　・
⊙高強度プレストレストコンクリートくい（〃）㊟A種　・
・外殻鋼管付コンクリートくい（第38条認定品）　鋼管厚（　）mm
・鋼管くい　・H形鋼くい　鋼厚（　）mm
⊙DMA杭　(4.2.1)

	くい径（mmφ）	長さ（m）	長期設計支持力（t／本）	本数（セット数）
試験ぐい	450φ	13+11+11	75	6
本ぐい	450φ	11+11+11	75	図示

(DMA-A-16)+A+A　計105本

② くいの打込工法
ハンマー種別　※ディーゼルハンマー　・ドロップハンマー
⊙プレボーリング　オーガー径　・320　・350　・400　・450
先端根固め工法（建設省認定）　プレボーリング長　※くい長－2.0m　⊙くい長＋1m
ベントナイト安定液　・使用する　※使用しない
・セメントミルク工法　打止め工法　※打撃　・圧力　(4.2.2)
施工業者

③ くい継手
※なし　⊙あり〔※アーク溶接　・　〕　(4.2.3)

④ くい頭の処理
クイ頭の空胴部に底板を敷き基礎コンクリートの流入をさける。　(4.2.4)

⑤ くい支持力の算定方法
※昭和46年1月29日建設省告示第111号（改定　昭和53年10月20日　建設省告示第1623号）による。（打撃工法）　(4.5.2)

⑥ 土間シート
JISZ1702による包装用ポリエチレンフイルム　厚さ0.15mm　重ね250mm以上
施工箇所　※建物内の土間コンクリート下

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋　(5.1.1) (5.1.2)

種	別		使用箇所	規格等
異形鉄筋	※A類	㊟SD30A　⊙SD35	図示	5.1.1表
	・B類			
丸鋼	※A類	※SR24		5.1.2表
	・B類			

② 溶接金網
※網目の形状＿＿寸法＿＿鉄線の径＿＿　⊙図示　(5.1.3)

③ 鉄筋の継手
径19mm以上の柱，梁の主筋　・重ね継手　㊟ガス圧接　(5.2.1)　(5.3.2)

④ 鉄筋のかぶり厚さ
外壁の打増し部は，かぶり厚さに算入しない。　(5.2.2)
耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは，5.2.5表の値に（※10・　）を加える（床版を除く）。　(5.2.2)

⑤ 帯筋
形の種別　※H形（ロは除く）　・W－1形　・S形　・丸形
⊙図示　(5.2.16図)

⑥ 壁開口部の補強
種別　一般壁　※A形　・B形　⊙図示　(5.2.9表)　(5.2.10表)
耐震壁　※B形　⊙図示

⑦ 土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強方法は特記による。　(5.2.47図)
基礎ばりとの接合部は5.2.47図による。

⑧ はり貫通孔の補強
別図「構造配筋基準図」による。

⑨ ガス圧接検査
⊙引張試験　・超音波探傷試験　(5.3.4)

⑥ コンクリート工事

① レデーミクストコンクリート
種別　㊟Ⅰ類（茨城県の指定工場であること。）　・Ⅱ類　(6.1.1表)

② セメント
種類　㊟普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.2.1)
・早強ポルトランドセメント

③ 骨材
⊙細骨材の塩化含有量の限度は0.04%/wt 以下とする。
・骨材は「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）又はJISA5308　付属書（骨材のアルカリシリカ反応性試験方法方法（モルタルバー法）」による試験による安全と認められた骨材を使用する

④ 塩化物量の試験
国土開発技術研究センターの技術評価を受けた塩化物量測定器により行い，試験値は同一試料における3回の測定の平均値とする。　(6.11.3)
試験回数
下記による。ただし，最初の試験は打ち込み当初行うものとする。
1日1回以上かつ
※150m³ごと又は，その端数につき1回以上とする。
・50m³ごと又は，その端数につき1回以上とする。
（海砂など塩分を含むおそれのある骨材を用いる場合）

不合格の場合の処置
上記の結果不合格となった場合は，次の運搬車から各運搬車毎に試験を行い，指定値以下であることを確認した後使用するものとする。ただし，この場合連続して10台の運搬車の試験が指定値以下であることが確認できれば，その後は上記試験の回数の項による。

⑤ 混合材料
㊟混和剤
AE剤　WRグレース㈱（ターレックスAEA），山宗化学㈱（ヴィンソル）
花王石鹸㈱（マイティ AE－03），竹本油脂㈱（チューポールC）
AE減水剤標準形のⅠ種，（なお，減水率は12%以上5%以下とする）
花王石鹸㈱マイティ150RA），サンフロー㈱（サンフローK）
竹本油脂㈱（チューポールEX），ポゾリス物産㈱（ポゾリスNo.70）
藤沢薬品工業㈱（パリックS），日本シーカ㈱（プラストクリートNC）
WRグレース㈱（ダーレックスWRDA），山宗化学㈱（ヴィンソル80）
・混和材　JISA6201によるフライアッシュとする。

⑥ 普通コンクリート　(6.1.2)　(6.3.2)

設計基準強度 Fo (kg/cm²)	施工箇所
㊟210	下記以外
⊙180	土間コン　擁壁，門，囲障，スロープ等
⊙150	捨コン

スランプ　6.3.1表，6.4.1表による。
所要空気量　（%／vℓ）※　4
コンクリート中の塩化物の含有量は0.30 kg／m³以下とする。　(6.3.2) (6.4.4) (6.7.2) (6.7.5)

⑦ 軽量コンクリート

設計基準強度 Fo (kg／cm²)	種別	気乾単位容積重量（t／m³）	施工箇所
㊟210		2.0	防水押工
・180			

所要空気量（%／vℓ）※5　(6.7.5)

⑧ 無筋コンクリート
粗骨材の最大寸法（mm）　㊟25（捨コンクリート及び防水押コンクリートの場合）(6.9.2)
施工箇所　㊟6.9.1表による。　(6.9.3)
・下記による。

種別	施工箇所
・A種	
・B種	

⑨ 床コンクリートこて仕上　(6.12.2表)

種別	施工箇所
⊙A種	防水押えコンクリート，合成高分子ルーフィング防水下地，塗膜防水下地
⊙B種	一般屋根アスファルト防水下地

・

⑩ 打放し用せき板　(6.13.3) (6.13.2表)

種別	コーンの穴埋め	施工箇所
⊙A種（厚15mm）	・面うちに仕上げる。 ※面に合わせて仕上げる。	
※B種（厚12mm）	・面うちに仕上げる。 ※面に合わせて仕上げる。	
・C種（厚12mm）		

⑪ 外部の打放し面の打増し
㊟20（mm）　・

⑫ コンクリートの試験
圧縮試験は「茨城県建設技術管理センター」等の公的機関において行う。　(6.11.1－6.11.6)

⑦ 鉄骨工事

① 鋼材　(7.2.1) (7.10.2)

材質	使用箇所	規格等
SS41		⊙JIS規格品　・規格に合格するもの
SSC41		・JIS規格品　・規格に合格するもの
STKR41		⊙JIS規格品　・規格に合格するもの
		・JIS規格品　・規格に合格するもの

規格に合格するものの材料は，共通仕上書7.2.7（b）による。

② 高力ボルト
⊙JISの高力ボルト（セットの種類は2種（F10T）
トルク係数値による種類（・A，・B）　(7.2.2)
⊙特殊高力ボルト（セットの種類は2種（F10T）
⊙溶融亜鉛めっき高力ボルト（セットの種類は1種A（F8T相当）
（特殊高力ボルト及溶融亜鉛めっき高力ボルトは建築基準法に基づき認定されたもの）
建設省告示第1795号に適合するもの，かつ，締めつけの程度が目視で確認できるもの

③ 溶接の検査
超音波探傷検査　⊙行う。　・行わない。　(7.5.9)

④ アンカーボルトの保持及び埋込工法
種別　・A種　※B種　・C種　(7.8.1表)

⑤ 柱底ならしモルタルの工法
種別　・A種　※B種　(7.8.2表)

⑥ さび止め塗料
種別　㊟A種　・B種　(17.3.1表)

⑦ 鉄骨の製作工場
⊙監督員の承諾する製作工場
・鋼構造物製作工場認定制度＿＿グレード同等以上で監督員の承諾する製作工場

⑧ ブロックALCパネルPCカーテン

1. 補強コンクリートブロック造
空洞コンクリートブロック　※C規格品　・　(8.1.2)
厚さ＿＿＿
コンクリートの設計基準強度（Fo）　・210　・180

② コンクリートブロック帳壁及び塀
種別・空洞コンクリートブロック　㊟C種　⊙普通　・防水
厚さ 100
・化粧コンクリートブロック
・型枠コンクリートブロック　(8.2.1)
適用箇所は8.2.1表により又はブロック塀の厚さは8.2.5による

3. 防水ブロックの目地用防水剤
※9章防水工事の項目4による。

4. ブロックベイの基礎及び控壁に用いるコンクリート
設計基準強度　・6章コンクリート工事の項目5による。　(8.1.5)
Fo（kg／cm²）　※180　・

5. 鉄筋（耐力壁・帳壁）
種別　※異形鉄筋　SD30A（※JIS規格品　・規格に合格するもの）　(8.1.2)
・丸鋼　・A種　※B種

6. プレキャストコンクリートの調合
※強度上の水セメント比　65%/wt 以下　・設計基準強度Fo＿＿＿(kg／cm²)

7. A.L.Cパネル（ウォール工事）
種類　※許容荷重および耐火時間を指定する場合は下表による。　(8.4.2)

施工箇所	厚さ	許容荷重	耐火時間

金物の材料　目地用鉄筋　※丸鋼B類　・
工法　外壁パネル　・A種　※B種　・C種　・D種
間仕切壁　※A種　・B種　・C種　・D種
屋根及び床　(8.5.9)による。

8. ALCシーリング用材料
ALCとALCの取合い　種別　※E種
ALCと金属の取合い　種別　※D種

9. PCカーテンウォール
コンクリートは軽量コンクリートとし，種別は1種とする　(14.2.4表)
性能　8.6.2による
目地処理　※C種　・
設計基準強度（Fo）　※300kg／cm²　・
取付金物　※SS41　・
防せい処理（電気亜鉛めっきの種別）
く体金物及び連結用金物　※B種　・
部材付金物　※C種　・

⑨ 防水工事

① アスファルト防水　(9.1.1表～9.1.6表)

	種別	施工箇所
⊙保護防水	・A－1　・A－2　・AⅠ－1　・AⅠ－2	⊙3全1
・露出防水	・C－1　・C－2　・D－1　・D－2	
・屋内防水	・E－1　・E－2	

日新工業㈱，田島ルーフィング㈱，昭和化工㈱，東和工業㈱，静岡瀝青工業㈱，施工業者は，各材料製造所の指定施工店とする。

② 合成高分子ルーフィング防水　(9.2.2) (9.2.3)

施工箇所	種類	厚さ（mm）
キャノピー屋根	1種（加流ゴム系）	・1.0　㊟1.2　・1.5　・2.0

仕上　※露出（保護塗装）　（注）ゴム層の厚さを示す
・加流ゴム系ルーフィング
ARセンター㈱（ARシート），カネボー化成㈱（ベルシートC工法）
東洋ゴム工業㈱（トーヨーシートエキストラ#501），日新工業㈱（NPシート2号 S），
日本ゴム㈱（アサヒルーフィングS-1工法），三ッ星ベルト㈱（ネオルーフィングE）
日立電線㈱（H-AT法），日東電気工業㈱（ニトルーフNo.601，No.601R）
シバタ工業㈱（エスシート）
・非加流ゴム系ルーフィング
・塩化ビニール樹脂系ルーフィング（厚さ　・1.0　・1.5　・2.0　・2.5）
ロンシール工業㈱（ロンプルーフ，ベストプルーフ）山出興産㈱（リベットルーフ）
施工業者　上記製造所又はその指定業者の責任施工
種別は9.3.1表（・X-1　・X-2　・X3）9.3.2表（・Y1　・Y-2　・Y-3）(9.3.2)
による又は下記による

3. 塗膜防水

施工箇所	種類	厚さ（mm）
	ウレタンゴム系	・1.8　※2.0　・2.5

仕上　※露出（保護塗装）
・タールウレタン　・ノンタールウレタン〔・カーボンウレタン　・カラーウレタン〕
・タールウレタン　三井東圧化学㈱（サンシラールT工法），保土谷建材工業㈱（ミリオネートSA工法），日立化成工材㈱（グカンドシール1000工法）
・カーボンウレタン　ARセンター㈱（ARウレタンND工法），カネボー化成㈱（ベルウレックスUC工法），三井東圧化学㈱（サンシラールN工法），新東洋合成㈱（パネコートX-240工法），大和高分子工業㈱（ダイフレックスAS工法），小松合成樹脂㈱（アクアコートW工法）
・カラーウレタン　三井東圧化学㈱（サンシラールC工法），新東洋合成㈱（パネコートF-400C-1工法），横浜ゴム㈱（ハマタイトU-7000工法），大和高分子工業㈱（ダイフレックスBS工法），日立化成工材㈱（グランドシール2000工法），小松合成樹脂㈱（アクアコートW工法）
施工業者　上記製造所又はその指定業者の責任施工

4. モルタル防水

施工箇所	備考

㈱ケルビン（ケルビン防水工法），マグナ工業㈱（マグナー防水工法）
㈱マノール（マノール防水工法），小野田㈱（ユニロン防水工法）

5. 施工票
工事完了後は監督員の指示する位置に取付ける。
施工箇所　※9.4.1表による　・下表による　(9.4.2) (9.4.1表)

⑥ シーリング材

種別	材種	施工箇所
・A種	シリコーンシーリング材（1成分形）高モジュラス形	
・B種	シリコーンシーリング材（1成分形）低モジュラス形 シリコーンシーリング材（2成分形）	
⊙C種	ポリサルファイドシーリング材（2成分形） 変成シリコーンシーリング材（2成分形） 変成シリコーンシーリング材（1成分形）	サッシ廻り　ガラス留め 化粧目地
⊙D種	ポリウレタンシーリング材	躯体1次シール
・E種	エマルション系アクリルシーリング材	
・F種	油性コーキング材	

⑩ 石工事

① 石材の種類及び仕上

施工箇所	石の種類	仕上・その他
図示	図示	図示

2. テラゾブロック張り
種石の種類　※大理石　・花こう岩　(10.4.2)

⑪ タイル工事

① 陶磁器質タイル張り　(11.1.1)

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ	うわぐすり	役物	その他
外壁	227×60×19(13)	炻器質	無釉		INAX ひいろ窯
待合ホール	197×47×15	炻器質	無釉		INAX [illegible]
床	100×100×17	磁器質	無釉		INAX [illegible]
~~床~~	~~95×95×9~~	~~磁器質~~	~~施釉~~		~~INAX [illegible]~~

陶磁器質タイル　三井鉱山㈱，㈱INAX，岩尾磁器工業㈱，ダントー㈱，日本陶管㈱，上山製陶㈱，ニッタイ工業㈱
特殊タイル

② 外壁の伸縮目地
位置　・共通仕様書による。　※立面図による。　(11.1.3.a)

③ 壁タイル張りの工法
㊟11.1.4表による。　(11.1.3)

4. タイル型わく先付け
種別　・タイルシート法　・目地ます法　・さん木法　(11.2.1表)

⑤ 接着力試験
※行う。　・行わない。　(11.1.4)

昭和58年4月作製 昭和60年4月改訂 昭和62年7月改訂 平成元年4月改訂	工事名称　仮称　土浦市保健センター建築　主体工事	No. A－2
	図面名称　特記仕様書（その1）	
	年　月	

土浦市建設部住宅営繕課	課長	課長補佐	係長	設計	設計年月日	委託名称	図面名称	縮尺	番号
						土浦市保健センターZEB化改修工事基本・実施設計業務委託	特記仕様書（1）	—	A-2